

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1738号	氏名	柴田 良仁
論文審査担当者		主査教授	小路 武彦
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	下川 功
論文審査の結果の要旨 「進行非小細胞肺癌患者において Bcl-2 蛋白の発現は良好な予後に関係している」 1. 研究目的の評価 本研究は、非小細胞肺癌患者組織に於いて、アポトーシス関連遺伝子である p53 及び Bcl-2 の発現並びに各種臨床病理学的因子と予後との関連を検討するもので、目的は妥当である。 2. 研究手法に関する評価 扁平上皮癌 54 例と腺癌 66 例の計 120 例の非小細胞肺癌組織切片を用いて、p53 及び Bcl-2 の発現を免疫組織化学的に検討し、陽性腫瘍細胞数を計数後適切な統計処理を行って各種臨床病理学的因子とこれら遺伝子発現並びに予後との関係を明らかにしており、研究手法も適切である。 3. 解析・考察の評価 上記の検討の結果、p53 発現と臨床病理学的因子並びに Bcl-2 発現との関連性は認められなかった。更に多変量解析結果とは異なり、単変量解析では Bcl-2 発現と予後との有意な関係は見られなかったが、より進行した癌では Bcl-2 発現が良好な予後と有意に相関することを見出した点、解析結果と考察は評価できる。 以上のように、本論文はアポトーシス関連遺伝子発現と非小細胞肺癌患者の予後との関連の理解に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			

(注) 報告番号は記入しないこと。